

全国運動速報

【発行】 国鉄闘争全国運動事務局

2012年5月31日発行

千葉市中央区要町2-8 DC会館内

nationwidemovement@yahoo.co.jp

韓国民主労総 金属労組 KEC支会 75人全員の解雇撤回 日本遠征闘争 5月21日~25日 直後の大勝利

国鉄1047名解雇撤回の6・10集会に大結集を

韓国慶尚北道の南西部にある亀尾(クミ)市の半導体部品メーカーKECで働く金属労組クミ支部KEC支会の労働者が5月30日、全員の解雇撤回をかちとりました。

KEC支会は、今年2月に強行された75名の解雇攻撃に対して渾身の力で闘ってきました。会社の解雇理由の主張はあまりにも理不尽で、組合員も、必ず勝つと確信はしていたけれど、その彼らが驚くほどの急激な状況変化です。

KEC支会は「闘いが終わってたわけではない。いつそう強力な闘いを続けなければならぬ」と言っています。KEC支会は、この間の闘争で、「解雇

の理由は経営困難、赤字」と主張する会社の嘘を暴き出す闘いを強力に推し進め、会社側を追いつめました。会社を解雇撤回を言わざるを得ないところまで追いつめたのです。

会社が推し進める外注化をはじめ「構造改革」＝労組弾圧に抗して、社内下請＝非正規職化阻止、労働者の権利をかちとつて行くためには、これからが本当の勝負です。

◎韓国のKEC支会労働者と日本の労働者の共同の闘いで勝ち取った勝利

KEC支会はこの間、クミ地域で集中的な闘争を展開する一方、3人の組合員が日本遠征闘争に立ち上がり、日本の関連会



韓国民主労総傘下の金属労組KEC支会は5月21日から25日、75人の解雇撤回を要求して日本遠征闘争に立ち上がった。動労千葉など日本の支援の労働組合とともにKEC会長の親族会社TS-Japanや取引企業に対する抗議行動を行った。

◎国鉄闘争全国運動6・10全国集会

6月10日(日) 午後1時(12時半開場)

文京シビックホール

(主催) 国鉄闘争全国運動

社に対して、KECで起きていた労組弾圧の実体を知らしめる抗議訪問を行いました。

特にTS-Japanという会社はKECの会長の親族会社で、企業会計の操作で会社にKEC工場が稼いだ金が日本に横流しされる構造をKEC支会はずかしました。

TS-Japanに対する抗議訪問を最も重点的に行いました。

5月21日から25日までのKEC支会日本遠征闘争は動労千葉をはじめとする国鉄闘争全国運動に結集する多くの労働者が自分の闘いとしてともに闘いました。ちょうどその渦中に「KEC会社側が組合に団交開催を申し込んできた」という連絡がありました。

KEC支会の解雇撤回は韓国のKEC支部と国鉄闘争全国運動に結集する日本の労働者が具体的な闘いをともにしてかちとったものです。

韓国のKEC支会の労働者たちが、労働者として、人間らしく生きるために、闘い続けていることに対して、私たち日本の労働者として具体的行動で体をもって連帯していかねばなりません。

今回の勝利を受け、KEC支会に再来日して、6・10集会の参加していただくよう要請中です。6・10集会は国鉄1047名解雇撤回をメインに据えた労働運動再生の集会です。多くの参加を訴えます。